

みんなでまもりつづける。羊蹄山と湧き水のまち 京極



広報

きょうごく

Public information Kyogoku

4

2025
No.816





— 京極中学校卒業式 —

3月13日、京極中学校で卒業式が行われました。式では学校生活をともに過ごした先生や在校生、いつも支えてくれた両親が見守る中、卒業証書を授与され、すべての義務教育を修了しました。



歴史講座17 昭和50年代の音楽を聞きながら町の出来事を振り返る

1月31日、2月1日に湧学館で歴史講座17を開催しました。

両日で31名が参加され、昭和50年代にラジオやテレビで流れていた音楽を聞きながら町の出来事を振り返りました。

講座はレコード盤で14曲の楽曲を聞きながら、京留橋、中野橋の架橋やバッタの異常発生など、年ごとの出来事にふれました。

参加された方々からは「青春時代の懐かしい曲の数々、当時の思い出がよみがえってきました。曲を流すことで、より当時の出来事が身近に、また印象に残りました」、「レコードの音はあらためていいなあと感じました。なつかしい良い時代でした」との感想をいただきました。



読書活動作品展を開催しました

読書活動作品展を開催しました。

作品展は京極町内の小学生を対象にしており、95点の作品が出品されました。

これらは小学校の授業時間内に取り組みされたもので、読書感想画、おすすめ図書カード、パソコンで作った本の紹介ポスター、本の紹介ポップ、イラスト付きの感想文、とそれぞれの学年で児童みなさんの好きな本やお気に入りの一冊が表現されていました。

2月1日～28日まで湧学館で展示を行い、多くの方に作品を見ていただきました。



京極町アプリ説明会を実施しました

2月18日（火）に事業者向け京極町ポータルアプリ説明会を開催しました。

37名の事業者様にご出席いただき、1時間ほどNTTコミュニケーションズ株式会社のご担当者から運用方法をご説明いただきました。

京極町アプリでは、役場や地域事業所からのお知らせや町内事業者からのお得なクーポンを受け取ることができます。

アプリは3月3日からすでにリリースされており、お手持ちのスマートフォンにアプリをダウンロードすることで、無料でどなたでもご利用できます。

ダウンロードはP30ページのQRコードからお願いいたします。



村上敦さんに自衛官募集相談員を委嘱

2月20日、俱知安町内において、自衛官募集相談員委嘱式が行われ、佐古岡秀徳町長と自衛隊札幌地方協力本部栗田昌彦本部長の連名で村上敦さんに委嘱状が交付されました。

自衛官募集相談員は、自衛隊員の確保のために自衛隊入隊志願者に関する情報の提供や自衛官募集における広報について援助などを行います。

任期は令和9年3月31日までとなります。



2025京極町長杯ミニバレーボール大会 が開催されました



2月23日に京極町バレーボール協会主催「2025京極町長杯ミニバレーボール大会」が行われました。

8チーム2ブロックに分かれ、トーナメント戦で試合が行われました。46名の参加者により好プレーや珍プレーが続発する熱戦が繰り広げられ、盛り上がりを見せていました。

大会終了後には、「お楽しみ抽選会」が行われ、惜しくも試合に負けた選手も1等の賞品を手にするなど最後の最後まで、たいへん賑わいを見せていました。

京極建設協会がヘルメットを寄贈



2月25日、京極建設協会から京極小学校に入学する児童に対し、自転車用ヘルメットの寄贈を受けました。

京極建設協会は(株)中村組、(株)櫻組、菊地建設鋳業(株)、川崎建設(株)、京極建設(株)、(有)伊藤建設、(株)久保組、(有)田村林業建設の8社から構成されています。

寄贈式では中村会長から東原教育長に「子どもたちの安全に一助できることを喜ばしく思います。元気に通学する姿を心待ちにしています。」とヘルメットが手渡されました。

一生懸命がかっこいい！ スポーツ健闘の証

京極町クロスカントリースキー少年団が町長を表敬訪問しました

3月5日～9日名寄市、なよろ健康の森クロスカントリーコースで開催されるJOCジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会に出場した京極町クロスカントリースキー少年団の選手の皆さんが町長を表敬訪問しました。

選手の皆さんからは「悔いの残らないように元気に楽しく走りきりたい」と、決意表明がされました。佐古岡町長から「名寄市は寒いと思うので体調管理をしっかり行い、全力で頑張ってもらいたい」と激励の言葉が贈られました。

これまでの大会結果は以下のとおりです。

小学6年生	小上 椋			
1月26日	全道ジュニアクロスカントリー和寒大会	クラシカル部門	10位	
2月16日	宮様ジュニアクロスカントリー競技会	フリー部門	10位	
小学6年生	中井 大翔			
2月16日	宮様ジュニアクロスカントリー競技会	フリー部門	13位	
小学6年生	成田 有杜			
2月16日	宮様ジュニアクロスカントリー競技会	フリー部門	18位	
中学2年生	加藤 優翔			
1月11日～12日	北海道中学校スキー大会	クラシカル部門	12位	
		フリー部門	22位	
中学2年生	関 柊太郎			
1月11日～12日	北海道中学校スキー大会	フリー部門	18位	



令和6年度読書感想文コンクール・読書活動作品展

京極町内の中学生を対象に実施している読書感想文コンクールに66点の応募があり、審査の結果、学年ごとに入賞作品が選ばれ3月6日（木）に表彰式を開催しました。受賞作の作品集を発行していますので、ぜひ湧学館をご覧ください。



賞	学年	タイトル	氏名
最優秀賞	中学1年生	笹森くんのスカートを読んで	高橋 ひより
優秀賞	中学1年生	サマーゴーストを読んで	田居 慶大
優秀賞	中学1年生	手で見るぼくの世界は	細川 遥哉
佳作	中学1年生	後悔病棟	駒田 拓飛
最優秀賞	中学2年生	「君がこの優しい夢から覚めても」を読んで	佐藤 優
優秀賞	中学2年生	君たちはどう生きるか	関 柊太郎
佳作	中学2年生	十三歳からの暗記ノート	川本 橙茉
佳作	中学2年生	ゲンバクとよばれた少年	笹原 啓人
最優秀賞	中学3年生	傲慢と善良	五十嵐 小百合
優秀賞	中学3年生	ピエロがいる街	菊地 里菜
優秀賞	中学3年生	「成瀬は天下を取りにいく」を読んで	松田 桃果
佳作	中学3年生	変な家二を読んで	後藤 亜花梨
佳作	中学3年生	リラの花咲くけものみち	高木 優佳
佳作	中学3年生	ケモノたちがはしる道を読んで	二階 心音

令和7年度就学援助制度について

京極町では、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に学用品費等の援助を行っています。4月に小中学校から案内文が配布されますので、申請される方は書類を提出して下さい。

なお、この時期以降も申請は随時受け付けていますので、学校へご相談下さい。

※1年ごとに認定審査があり、毎年必ず認定されるとは限りません。

○支給の対象者

京極町の小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、下記要件に該当する方。

【認定要件】

- ・生活保護を受給している
- ・生活保護が停止又は廃止になった
- ・町民税が非課税又は減免になっている
- ・児童扶養手当が支給されている
(特別児童扶養手当、児童手当は除く) ほか

詳細については教育委員会学校教育係までご連絡ください。(0136-42-2700)

令和7年度 町政執行方針

令和7年第1回京極町議会定例会において、令和7年度の各会計予算案並びに諸議案のご審議をいただくにあたり、町政執行に対する所信の一端を申し上げ、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

国際的な原材料価格の上昇や円安を背景とした原油価格・物価高騰によって、燃料費や光熱水費などの経常経費の増加は避けられません。

これに加え、人口減少や急速に少子高齢化が進むなど、今後は義務的経費の増加も確実視され、新たな行政需要や従来の事業に要する一般財源の確保が相当困難な状況になると見込まれております。

このようななか、「第6次京極町総合計画」に沿って、安心して子育てできる環境の整備といった町民生活の質の向上に資する施策やデジタル社会への対応、SDGsの推進施策の取り組みなど、各分野において、多様化する行政需要に的確に対応した、必要不可欠な事務事業経費を新年度予算としてお示しさせていただきますところでございます。

令和7年度当初予算案の一般会計歳入の主なものとして、町税は固定資産税など14億53,607千円、地方交付税が13億51,785千円、基金繰入金が3億94,856千円、町債が2億70,200千円となっております。

一方、歳出では、町道常盤団地線常盤橋補修工事に47,000千円、東団地線改良舗装工事に42,000千円、特定公共賃貸住宅改修工事に37,900千円等の費用を計上したところでございます。

その結果、歳入歳出の総計は前年度の当初予算額から9.7%減の46億29,554千円となり、特別会計を含めた予算では、9.2%減の49億80,575千円の規模、企業会計を合わせた全体予算では21%減の60億40,898千円となります。

以下、主な施策の概要を申し上げます。

(1) 次世代につなげるまちづくり

持続可能な社会の構築に向けてSDGsを推進するほか、ゼロカーボンの実現に向けて家庭からの二酸化炭素排出量を削減することを目的に、省エネ家電買換え促進支援券給付事業を昨年度に引き続き実施するとともに、公共施設においては省エネに関する調査や計画的な節電などの省エネ対策を推進してまいります。

また、SDGsを推進するにあたり、二酸化炭素の排出量削減にあわせ、吸収源対策として森林整備が重要となることから、森林を適切に循環させることを意識した計画的な整備を進めてまいります。

「羊蹄山麓の農村景観」や「京極のふきだし湧水」が地域資源として認められ、本町が平成20年から加盟しております「日本で最も美しい村連合」は、今年度に、設立20周年の節目を迎えることから、加盟村と連携した取り組みをなお一層進めていくほか、町民の皆様のご協力を得ながら、ビューティフルデーをはじめとする町内の景観保全活動を実施してまいります。

生活環境保全のためのごみ処理について、今年度よりサントリーホー

ルディングス株式会社との提携により、ペットボトルの水平リサイクル「ボトルtoボトル」事業を開始します。また、ごみの減量化に向け、分別収集の推進、広報周知の徹底のほか、可燃ごみの固形燃料化や生ごみ堆肥化などを引き続き推進し、持続可能な循環型社会の形成に努めてまいります。

さらに、現在、町内会等に行っているごみステーションの設置補助について、新規設置に係る助成上限額を引き上げるとともに、修繕についても新たに助成対象となるよう見直しを行います。



(2) 地域力が発揮される魅力あるまちづくり

農業の振興について、近年は燃油や資機材価格の高止まりが続くなど農業経営は厳しさの一途をたどっており、離農や経営面積の縮小等の判断に至るケースが徐々に増えつつあります。このような状況のなか、持続可能な農業の確立に向けた意欲ある担い手の確保対策として、昨年度より新規就農をめざす地域おこし協力隊の採用を行っております。昨年度に続き、今年度も新たに協力隊の採用を予定しているほか、数件の応募や照会が寄せられるなど、新規就農に関しては反応が良いことから、今後の定住促進や担い手確保の有用な施策として大いに期待しているところであります。

また、既に鋭意努力を続けている農業者に対し、今後も安心して営農を継続していただける支援策として、今年度における土づくり振興対策や種子購入費及び薬剤購入費助成などの農業振興予算は昨年度と同水準の金額を計上いたしました。

林業の振興において、今年度は民有林の積極的な事業展開が進められるよう、これまで実施してきた森林整備意向調査の結果を基に、希望する森林所有者に対し森林経営計画への参画を進めてまいります。さらに、

経費負担が極力少ない状況で管理委託できるように「民有林活性化事業」の補助上限額の引き上げを行い、経済的負担による所有林整備の停滞を抑制し、未来に向け安定した森林資源の充実が図られるよう努めてまいります。



商工業の振興については、物価高騰等の影響が続くなか、地域経済の活性化に向けて、商工会や金融機関などと連携を図り、「プレミアム付き商品券」の発行や各種融資、利子助成事業を実施します。また、新たな活気や地場産業が生み出しやすくなるよう、新規創業や業種の転換、追加を行う事業者に対し、経費の一部を補助する創業支援事業も実施してまいります。このほか、商工会の各種活動に対する支援を引き続き行っております。

観光振興については、「ふきだし公園」を中核としながら、観光協会と連携し、「きょうこく、ディスプレイプロジェクト」をはじめ、観光客の集客ならびに周遊を促すような新たな魅力に出席していただけるよう、京極町の四季折々の風景などを収めていただくフォトコンテストやカレンダーの制作に取り組んでまいります。

また、ふきだし公園内の安心安全な維持管理に努め、遊具や散策路等の修繕を実施するとともに、ふきだし周辺再開発整備の協議継続と、官民連携による整備の進め方について検討してまいります。



さらに、本年12月まで、プロ野球北海道日本ハムファイターズの地域貢献活動の一環として「北海道応援大使プロジェクト」が後志管内の自治体を対象として実施されていることから、北海道日本ハムファイターズと連携し、様々な事業を展開してまいります。

(3) 安心・安全で住みよいまちづくり

「安心安全なまちづくり」の推進を継続していくため、道路や河川などの社会資本（インフラ）の改良工事及び維持補修を実施してまいります。また、昨今の気候変動に伴う降雨量及び道路舗装の損傷箇所増加などに対応していくため、維持補修に係る予算を増額しております。

これまで、災害等が発生した場合、防災行政無線とホームページを活用し住民に必要な情報を提供してまいりましたが、防災行政無線は外出先で情報を受け取れないことやホームページにはプッシュ通知機能がないことなど問題点も指摘されておりました。このことから、これまでの防災行政無線、ホームページに加え「京極町アプリ」を活用し、災害等の速やかな情報提供に努めてまいります。

「住みよいまちづくり」を推進して

いくため、公営住宅等の長寿命化事業を継続してまいります。また、町内住宅施策の方針となる住生活基本計画の改定を進めてまいります。

簡易水道事業については、水道施設の維持管理費及び老朽化施設の更新を順次進め、安心安全な水道水の供給に努めてまいります。また、将来的にわたって安定的な事業を継続していくため、水道事業ビジョン（簡易水道事業長期基本計画）を策定し、投資試算及び財源試算を出すこととしております。

下水道事業については、敷設から経年による老朽化が進んでいる関連設備の改築及び維持補修を継続し、快適で衛生的な生活環境の確保に努めてまいります。また、事業の経営を推進していくため、ストックマネジメント計画及び経営戦略の改定を進めてまいります。

移住・定住施策については、住環境の向上と定住人口の増加を図るため、新築住宅や中古住宅の取得に対する補助事業の内容を一部拡充して継続実施するほか、民間賃貸共同住宅の建設支援についても期限を延長して実施してまいります。これら移住・定住に係る事業を多くの方に活用していただけるよう、情報発信に努めてまいります。

今年度の新たな事業として、結婚

に伴い新生活をスタートされる方に対し、住宅リフォームや引越し費用を補助する「結婚新生活支援事業」を実施します。

ふれあい交流センター「京極温泉」は、平成8年の営業開始以来、機械設備等の更新や修繕により施設の適切な維持管理に努めているところであり、物価高騰等の影響で経費が増加していることから、施設利用料の見直しを行い経営改善に努めてまいります。また、本年度においては、源泉ポンプ修理工事を実施いたします。

消費生活については、情報化、ネット社会の進展のなかで様々な悪質商法が増加しており、年齢に関係なく被害トラブルに見舞われるケースが全国各地で発生しております。

また、各種契約に関するトラブルも年々複雑化するなど、消費生活の相談業務は重要な役割を担っております。このことから、本町を含む7町村が国の財政支援を活用して整備した「よいてい地域消費生活相談窓口」を維持するとともに、町内での被害防止に向け、関係機関と連携した取り組みや積極的な啓発活動を推進してまいります。

交通安全対策について、本町は交通事故死ゼロが7,700日を超えており、道内でも2番目に長い日数

となっており、この記録を1日も長く継続できるよう、今後も健全安警察署、京極駐在所等各関係機関とより一層の連携を図るほか、交通安全指導員や各町内会の方々のご協力をいただきながら、引き続き交通安全意識の高揚・普及啓発に努めてまいります。

また防犯に関する施策として、今年度新たに、犯罪被害者等基本法に基づき「犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者等が受けた被害の回復や軽減を図るとともに、経済的な支援を行う体制を整えることで、安心して暮らせる町づくりを進めてまいります。



▲青空教室

(4) すこやかに暮らしつつける まちづくり

物価高騰の影響によるさまざまな困難や課題に直面するなか、国の交付金を活用した経済対策「物価高騰対応生活支援対策事業」を昨年度末から今年度6月末にかけて実施しているところでございます。今後も社会情勢をしっかりと見極めるとともに、必要に応じて、町民の皆様の生活に寄り添った経済対策に取り組んでまいります。

少子高齢化・人口減少の急速な進展が続くなか、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した相談に応じるとともに、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図ります。また、妊婦・子育て世帯に対し、出産・育児に必要な物品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図るため、出産・子育て応援金の給付と子育て支援券の支給を引き続き実施してまいります。さらに、これまで窓口が分散されていた子育て支援事業と母子保健事業の機能を統合し、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を持つ「子ども家庭センター」を設置いたします。

これまで第2子以降を無償としていた学校給食費について、今年度か

らは全児童・生徒を対象を拡大し、学校給食費の完全無償化を図ります。また、高校生等の保護者の負担軽減を図るため、高校生等の就学に要する費用の一部を助成する遠距離就学支援事業を引き続き実施してまいります。

保育園運営に関しては、基本となる保育所保育指針を遵守し、養護と教育が一体となり、園児が人との関わりや様々な経験を通して自分を発揮できるような保育に努めます。

さらに、今年度からは、全ての園児に対して主食を提供する完全給食を実施するとともに、保育業務のICTシステム導入による保育サービスのデジタル化も進めてまいります。今後も、幼児教育を担う施設として効率的かつ効果的な保育サービスの提供に努めるとともに、より一層の子育て支援を行ってまいります。

保育園児が、安全安心な環境で集団生活を過ごせるよう、夏の暑さ対策として施設の各部屋にエアコンを設置しております。また、災害等への対応として、毎月の避難訓練のほか、保護者への連絡及び引き渡し訓練や様々な感染症予防に引き続き取り組んでまいります。

子育て支援センターにつきましては、遊びや交流の場を提供するとともに、子育て相談などの育児支援も

行ってまいります。今後も関連機関との連携及び協力を図り、子育ての拠点となるよう役割を果たしてまいります。

学童保育所の開所時間について、今年度から保育園と同様に平日は午後6時30分まで延長することとし、子育て世帯の負担軽減に努めてまいります。



▲保育園運動会

ひまわりクリニックきょうごくに つきましては、今後も町民の皆様の医療に対する安心と安全を確保していくため、現在の体制を長く維持していくことが最も重要であると考えております。今年度におきましても医療に対する安心と安全を第一に考え、町民の皆様が安心して暮らし続けられるよう「地域のかかりつけ医療機関」としての役割を果たすために、所長を中心とした職員一同が鋭

意努力を続けてまいります。

健康は、一人一人が地域で元気に暮らしていく上で、大切な資源の一つであり、疾病予防に資する健康づくり事業は継続した取り組みが必要となることから、各ライフステージにおける各種事業を充実させ、全ての町民の願いである健康寿命の延伸に向けた取り組みを引き続き実施してまいります。

高齢者福祉において課題となるのは支えとなる人材の不足ですが、少子高齢社会においては、高齢者自身が健康づくりに取り組むことも必要なことから、介護予防事業や生きがいづくりの場の提供など、各種支援を行ってまいります。また、住み慣れたこの町で最期を迎える日まで自分らしく幸せに生活を続けるために、社会福祉協議会と連携し地域包括ケアシステムの構築を図ってまいります。

このほか、デマンドタクシーの運行、京極温泉入館料の助成、敬老祝金などの取り組みも引き続き行ってまいります。

高齢者や障がいのある方、子育て中の家庭などすべての町民が活躍できる地域共生社会の実現をめざし、今年度、障がい児の積極的な活動を支援する会「にわとりクラブ」に協賛し、障がいのある子どもたちとそ

の家族のために、チャレンジとアドベンチャーの場を提供する「いけまぜ夏フェス2025 in きょうごく」を8月9日と10日の2日間、障がいのある方、そのご家族、サポーターを含め約1,000名の参加により開催します。「生きる」と「混ざる」を合わせた造語「いけまぜ」の場に集うすべての人が「おたがいさま」、「みんな同じ人間である」ことを体感し、気づくことで障がいのあるなしに関わらず、すべての町民が暮らしやすい町にするための意識醸成を図ってまいります。

このほか、福祉課題として、1つの家庭で複合的な課題を抱える事案が増加していることから、重層的支援体制整備事業を実施いたします。町における包括的な支援体制を整備し、一人も取り残さない支援をめざしてまいります。



(5) 心豊かな人を育てる まちづくり

親子都市である香川県丸亀市とは様々な事業において相互交流を実施しているところであり、今後も丸亀国際ハーフマラソン大会「にぎやか村」をはじめ各種事業を通じて交流を深めてまいります。

また、広島市へ児童生徒を派遣し、平和の尊さを学ぶ機会を引き続き設けてまいります。

教育関係につきましては、今年度におきましても、総合教育会議などを通じて教育委員会と連携しながら子どもたちの健やかな成長に資するよう、教育環境の整備・充実に努めてまいります。



▲丸亀国際ハーフマラソン大会「にぎやか村」

(6) みんなが主役なまちづくり

本町における財政状況については、人口減少や固定資産税の減価償却などにより、今後も確実な減少が見込まれております。新規はもとより既存の事務事業の実施にあたっては、計画性をもって、必要度や優先度を選別して進めることとし、充当補助財源の確保や財政措置の高い起債の借入れなどに最大限留意することを徹底してまいります。

貴重な自主財源の根幹となる町税の着実な確保にあつては、多様な収納環境の整備と周知に努め、納税者の利便性の向上を図ってまいります。また、納期内納税の推進により新たな滞納者を出さないよう努めるとともに、滞納者が出た場合は、生活再建型の滞納整理をめざしつつ、悪質なケースについては強制徴収を実施するなど、後志広域連合と連携した取り組みを進めてまいります。

このほか、適切な町有林の整備により創出した二酸化炭素吸収量を森林クレジットとして販売することで、売却代金を環境保全対策の推進に寄与する事業の財源として活用してまいります。

森林クレジット

適切な森林管理により創出した二酸化炭素吸収量を「クレジット」とし

て国が認証し、このクレジットを企業等へ売却することで、売却益を得て、地球温暖化対策への積極的な取組のPRを行うことができます。

デジタル技術の活用としては、昨年度より運用を開始しております「京極町アプリ」を活用し、リアルタイムな情報発信により住民の利便性向上を図るとともに、その属性情報や行動データを基にした行政施策の改善に努めてまいります。また、クーポン発行機能を活用することで地域産業の活性化につながることを期待しております。

今年度の新たな事業として、3大都市圏等に事業所がある企業の社員が見見等を活用しながら地域の活性化に貢献する総務省の制度「地域活性化企業人活用事業」を実施し、京極町の新たな魅力の創出や交流人口の増加につながるよう取り組みを推進してまいります。また、昨年度に引き続き、地域おこし協力隊につきましても、積極的な活用を行ってまいります。

(7) 結び

京極町は、羊蹄山やふきだし湧水といった地域資源を大切にしながら、愛着を持って住み続けたいと思える穏やかで安心・安全なまちづくりをめ

ざしてまいります。
町議会議員の皆様をはじめ、町民の皆様には各種取り組みに対しご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。



▲ふきだし公園

令和7年度 教育行政執行方針



令和7年第1回京極町議会定例会の開会にあたり、教育委員会の所管行政の執行に関する主な方針について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がようやく収束の兆しが見られ、人々の生活も徐々に感染拡大前に戻ってきております。

しかし、世界情勢の変化や地球温暖化の影響により、地球環境の悪化は私たち大人社会のみならず子どもたちの学びの成長に関わる環境にもその影響が大きく及んでおります。

「まちづくりは人づくりから」と言われておりますが、今、私たちには、急激に変化する社会状況を見据えた新しい時代の中で生き抜く資質や能力の育成が強く求められています。

教育委員会といたしましては、本町の教育目標として掲げる「たくましい開拓精神をもって明るい郷土京極の建設をめざし」を念頭に、関係機関はもとより保育園・学校・家庭・地域がより一層連携を図り、社会の変化に柔軟に対応し、町民一人一人が持つ能力や可能性を最大限に伸ばさせるべく、学校教育においては「自立して社会で生きていく基礎を

育み、新しい時代を担える子どもの育成」を、社会教育においては「生涯にわたり、支え合い・学び合う地域づくりの推進」を目指して各施策を推進することといたします。

以下、令和7年度の重点的な事項について申し上げます。

1 学校教育の推進

(1) 「子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進」

学校教育につきましては、子ども一人一人がこれからの社会を生き抜く力を身に付けていくために、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

今年度におきましても、児童生徒一人一人の学びの充実を図るため、「ふるさと京極の未来を思い、語れる子」の育成を目指す小中連携の取組を軸に、授業における「京極VISION」をもとに、中学校教員による小学校への乗り入れ授業を強

化・継続し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す学びの実践と検証を進めながら、児童生徒の可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進に努めます。

社会で活きる力を育成するために、保・小・中の連携を深めることで9年間の義務教育をさらに充実させるため、京極町保・小「架け橋期力リキュラム」の構築に向けた取り組みを進めます。

また、児童生徒が本町の有する地域資源を活用したり、地域の方々と多様に関わったりしながら積極的に社会に参画しようとする意識を高め、自らの将来とのつながりを見通すことにより、社会的・職業的自立の基礎となる資質・能力を身に付けていけるようキャリア教育の充実を図るほか、自分の身の周りの「人・もの・こと」との体験等を通じて生きる力の育成につなげるよう、今年度も引き続き「ふるさと教育推進支援員」を配置し、小中学校でのふるさと教育を推進してまいります。

すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を実現するため

には、学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠との観点から、互いの連携を深めながら授業における1人1台端末の効果的な活用のほか、遠隔授業の取組や長期休業期間等における活用など、学習ニーズに応じた活動の充実に一層努めてまいります。なお、児童生徒に配布してあります端末が更新時期となりましたので、今年度はその更新を行います。

さらに、グローバル化が進む今日、本町を含め近隣町村では、海外からの移住者や観光客が年々増加しています。こうした環境の中で京極町の子どもたちが、英語を通じていろいろな人たちと主体的・積極的にコミュニケーションを図り、自分の思いや考え、意見などを生き生きと伝えあう力を育成していきます。そのため今年度は、小学校3年生以上の児童生徒一人一人の端末に英語のアプリを導入し、発音・会話練習、家庭学習での積極的な活用に努めます。

また、特別支援教育では、保育園、小学校、中学校の特別支援教育にかかわる教育支援委員会等で情報を共有し、関係機関による連携体制の強化をより図りながら、「通級指導教室」

ほか、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた適切な学びの場をつなげるよう、引き続き特別教育支援員を配置し、支援の充実に努めてまいります。

(2)「豊かな心の力を育む教育活動の充実と健やかな体を育む子どもの育成」

長引くコロナ禍により社会が変化するとともに、子どもたちの学校生活に大きな影響を与えてきました。教育委員会では、学校における教職員による子どもたちへの寄り添いはもちろんのこと、スクールカウンセラーによる相談や関係機関の協力など、保護者を含め子どもたちの個に応じた心のケアとサポートを最優先にしながら、学校の教育活動全体を通じて道徳教育及び体験活動の充実を図ってまいります。

近年、各種事情により学校に登校していない児童生徒が見受けられます。教育委員会ではそれらの児童生徒のため、オンライン学習や持ち込みの教材やドリルなどによる学習、各種相談を受け付ける京極町教育支援センター「あしすと」を開設し、対応を図ってまいります。

また、学校の教育活動全体を通じて「いじめは決して許されない」ことの理解を促し、併せて、心の通う人

間関係を築いていく能力の素地を養ってまいります。さらに、児童生徒や保護者への教育相談等を実施し、教職員間の情報共有を徹底するとともに、学校・家庭・地域住民・関係機関等との連携のもと、いじめの未然防止、いじめの早期発見及びいじめの対処などを総合的かつ効果的に推進いたします。

健康の保持・増進と体力の向上については、本年度も毎年実施している児童生徒を対象とした新体力テストの分析結果や健康診断結果をもとに、成果や課題の明確化を図りながら、保健体育授業、部活動、休み時間、放課後活動の工夫など、子どもたちの体力向上と生涯を通して心身ともに健康な生活を送るための資質・能力の育成を目指した取組を学校・家庭・地域と連携して進めてまいります。

学校給食につきましては、昨年度に引き続き地元食材の使用を含め食材の吟味を進め、食物アレルギーの対応など栄養教諭を中核として衛生管理の整った安全、安心で栄養のバランスに富んだ給食の提供に一層努めてまいります。さらに、児童生徒が考えた献立等の導入も実施いたします。

また、昨今の物価高騰の影響が賄

年度は給食費の改定を行います。改定に伴って、各家庭での負担を考慮し、児童生徒の給食費の無償化を実施いたします。

(3)「質の高い教育を支える教育環境」

本町の全ての教職員が会員となつて、主に授業改善に関する専門的、技術的事項の調査研究及び研修をおこなう「京極町教育研究会」や「京極町教育研究所」では、今日的な教育課題に対応するための教育理論と実践に関する事業や研究を進めているところです。その研究成果を生かして、「ふるさと教育」「授業づくり」「特別支援教育」の三つを柱とする本町の特色ある小中連携による教育を一層推進してまいります。

また、各学校校舎におきましては、その状況をしつかりと把握し、優先度の高いものから順次改修・整備を実施するなど、環境整備を進めてまいります。

加えて、経年劣化が激しい教職員住宅の新築に向け準備を進めておりますが、その他教職員住宅のリフォーム等の整備を進め、教職員が本町に在住し安心して職務に専念できるような環境づくりに努めてまいります。

さらに、近年の少子化や教職員の

働き方改革など、学校教育を取り巻く環境は大きく変化しており、部活動の在り方も見直しが求められています。

国においては令和5年度から令和7年度の3年間で部活動の地域移行の改革推進期間と位置付けており、本町においても今後の部活動の在り方について、町のスポーツ振興と一体的に検討を進めてまいりました。今年度におきましては、地域活性化企業人をスポーツ推進コーディネーターとして委嘱し、京極町にとつてどのような方法が良いのか協議・検討を行ってまいります。

子どもたちの安全・安心の確保については、今後も関係機関と連携、協力をしながら、大規模災害の経験や知見を踏まえた系統的な防災学習の実施、交通安全、防犯対策など、地域全体で子どもたちを見守る体制の強化を図ってまいります。

2 社会教育の推進

(1)「社会全体の教育力の向上」

昨年度に引き続き今年度も、京極町の子どもたちが目指す子ども像として「ふるさと京極町の未来を思い、語れる子」として、ふるさと教育を進めてまいります。この目標に向け取組の一つとして、ふるさと教育を推進するために、学校運営協議会

（コミュニティ・スクール）を中核とした地域の企業や団体、個人等の協力と参画が得られるよう、「CS（コミュニティ・スクール）コーディネート」を配置し、活動の拡充、推進を目指し地域の産業や人材等の地域資源を生かし、特色ある教育活動を進めてまいります。

また、子どもたちが自ら考え、選択し、チャレンジするという主体性を尊重しながら、「自然教室」や「チャレンジ教室」など、地域の魅力を探求しながら地域を学ぶ多様な体験活動や異学年・異世代間交流など、事業内容を工夫し健全な発達を促す環境と機会の充実に努めてまいります。

（2）「生涯学習社会づくりの推進」

生涯を通じた多様な学習活動の推進については、京極町ならではの資源を生かした体験や出前講座、さらに「湧水塾」など子供から高齢者までが自ら考え参加できる、町民のニーズに沿った生涯学習の充実と町民の積極的な参加を促す学びの場の創出を図ってまいります。

また、本町における文化活動の発表・鑑賞の場である前期・後期文化祭に加え、秋の文化祭が開催されるようになりました。新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、ここ

数年、発表や展示方法等の縮小を余儀なくされてきたところですが、従来の文化活動を取り戻しつつあります。本年度は、さらに展示・発表方法に工夫を加えながら関係機関と連携し、開催に向け支援や準備を進めてまいります。

読書活動の推進につきましては、本年度も引き続き、湧学館まつりや夏休み・冬休みスペシャルウィークなど読書の魅力や素晴らしさを伝えるイベントを企画していきます。さらに、保育園や高齢者福祉施設への本の貸し出しなど読書に親しむ機会の拡大と図書サービスの提供に努めるとともに、学校図書や図書ボランティアの方々とも連携しながら読書活動にとどまらない湧学館の活用方法の町民への周知を進め、芸術や文化に触れる内容を工夫しながら読書活動の普及、発展に努めてまいります。

また、町民の生涯学習の拠点である生涯学習センター「湧学館」において、自主的・自発的な学習環境を促すため、情報・知識に触れる拠り所となるよう、学習活動への支援や記録資料の計画的な整備を図ってまいります。

（3）「郷土の歴史と文化財の保護・活用の推進」

文化財の活用については、湧学館を拠点に、郷土資料や埋蔵文化財を保存・管理しております。

本町の歴史を懐かしみ振り返り、ふるさとを再発見できるように、本年度も引き続き「ふるさと教育推進支援員」を配置し、現有の生活文化資料や遺物ならびに写真・地図・解説資料を整理しながら、整理保存展示を行うとともに、歴史講座など、学習の機会を設けながら情報発信を進め、さまざまな学習活動へ活用できるように努めてまいります。

また、本町と親子都市協定を締結している香川県丸亀市との児童による交流事業ですが、相互の関係等歴史について事前に学習しあい、交流を深められるように引き続き実施いたします。今後は、本町の開拓の祖である丸亀市の歴史や文化に触れると共に、ふるさと京極町の開拓の時代から今日までの道程を振り返りながら、ふるさと京極の未来を子どもも大人も互いに思い、語り合える環境を築いていけるふるさと教育を進めてまいります。

（4）「生涯スポーツの推進」

スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠なものであり、人々が生涯にわたってスポーツ

に親しむことは、極めて大きな意義を有しています。

総合体育館をはじめとした各スポーツ施設等の環境整備を図りながら、スポーツ推進委員等との連携を一層深め生涯スポーツの充実に生かしてまいります。

体力づくりや健康づくり、スポーツとの関わりから得られる交流などは地域の活力につながります。学校における部活動の地域移行に向けた可能性の検証を含め、関係団体の協力のもと、生涯にわたる地域の新たなスポーツ普及推進環境の構築に向け、検討を進めます。

体力づくりと多様な世代間交流ができる機会として子どもから高齢者の方まで、年齢を問わず異年齢交流の場となるよう関係機関の皆さんと協議のうえ、様々なイベント等開催してまいります。

以上、令和7年度の教育行政の執行に関する主な方針について申し上げます。

本年度も京極町の教育目標を基盤とし、本町の自然と文化を愛し、広い心で活力に充ちた生涯学び続ける人間の育成を目指し、町民の皆さん並びに町議会の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

地域おこし協力隊 活動報告 | 2025年3月

■活動内容 且見祐介

・七輪炭火焼肉 オレンチのインタビュー動画制作

2月も何度か店舗の撮影を行いました。

編集作業は大詰めとなっており、3月にはSNS等で公開できる予定で進めています。

この動画を通じて、地域住民や観光客のさらなる来店促進を期待しています。

また、京極町に移住を考えている方向けのコンテンツとして、SNS以外で使用することも想定しているため、今後の移住促進にも繋がればと考えています。



オレンチ動画制作

・山村活性化事業に関する商品のロゴ制作

山村地域の産業活性化を目的とした事業にて、商品ロゴの制作を開始しました。

現在、町内の事業者が地域特有の素材を活かした商品開発を進めており、その商品を象徴するロゴの制作を行っています。

今回、商品詳細のヒアリングを行い、これから実際のデザインに反映していく予定となっていますので、ロゴが完成次第、改めて皆様にご報告できればと思います。



KYOGOKU_KURASHI

↑Instagram
アカウント名
kyogoku_kurashi

その他活動

- ・地域おこし協力隊Instagramアカウントの運用
- ・動画撮影、編集スキルアップのためのオンラインスクール受講
- ・キャンプ場の土地探し&空き家探し継続中

藤原 耕太

今月は引き続きInstagramにて、京極町のじゃがいもを使用したレシピの紹介をしています。

また学童キッチンに参加し、Instagramで紹介した「じゃがいもと塩昆布のバター和え」を子どもたちに食べてもらいました。「家でも作りたい」という声もあり、うれしい反応をいただきました。

この度、最大3年ある任期のうち1期でございますが、一身上の都合で地域おこし協力隊としての活動を終了することになりました。これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今後も京極町での経験を活かし、新たな挑戦に取り組んでいきます。

※Instagramアカウントについては残しておりますので引き続きご覧いただけます。



学童キッチン



NOKA_KYOUGOKU

↑Instagram
アカウント名
noka_kyougoku

障がい福祉推進事業PR

発達障がいを 知る・学ぶ

発達障がい理解促進パネル展

展示
期間

2025.4.2(水)～4.8(火)

場所

京極町生涯学習センター湧学館
1階 「絵画展示コーナー」

News!

京極町地域福祉計画の基本理念である「幸せな暮らしをみんなで支えるまちづくり」を推進するため、令和7年8月9日(土)～10日(日)に京極町で障がい福祉の交流イベントである「いけまぜ夏フェス2025inきょうごく」を開催いたします。

発達障がいは、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど、脳機能の発達に関係する障がいです。

発達障がいのある人は、他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。

発達障がいの人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、こどものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障がいに対する私たち一人ひとりの理解が必要です。

問い合わせ

京極町役場 健康推進課高齢者福祉係
電話 0136-42-2111

令和7年度 きょうごく健康さ~くる

にこ にこ
えいよう 栄養相談室
NIKENKURU そうだんしつ

Kenkuru.

春からナニする?!!
Kenkuru. はじめよう!

Kenkuru.

年会費1,000円で!

最大5,000円の
商品券ゲット!

スマートフォンのアプリでも参加OK!

Kenkuru. のコンセプトは「歩いて健康に！」

Kenkuru. は、歩いたり、セミナーに参加したり、自分なりに楽しく生活することで「気づいたら健康になっていた」という仕組みを目指しています。

たくさん歩くことが目的ではなく、歩くことで、自分らしい生活を続けられる町民が増えるための健康応援事業です。令和6年の会員は160人です。

Kenkuru. は、一部を株式会社タニタヘルスリンク、札幌保健医療大学に委託して実施しています。



タニタヘルスリンク



札幌保健医療大学
Sapporo University of Health Sciences

Kenkuru. で できること

1 活動量計かスマホを持って歩く



活動量計



※活動量計かスマートフォン
どちらかをお選びください。
活動量計ご希望の方には
1人1台お貸しします。

2 体組成計や血圧計をはかる



体組成計

筋肉量などからだの
状態をチェックします

4 ポイントを景品と交換する

歩数やイベント参加により貯まった健康ポイント
(裏面参照) を年度末にまちの商品券や温泉券などの
景品と交換する

3 イベントに参加する



セミナー
の様子

セミナーやウォーキングラ
リーなど楽しいイベントを
予定しています

問い合わせ

京極町役場 健康推進課 (保健師・管理栄養士)

TEL : 0136-42-2111 (平日8:45~17:30)

Mail : kenko@town-kyogoku.jp



健康推進課メールアドレス用
二次元バーコード



健康推進課公式LINE7が外用
二次元バーコード

対象者

京極町に住所を有する18歳以上の者

定員はありません。人工透析者、ペースメーカーなどの体内機器装着者、新規入会時に妊娠中の方の参加はご遠慮いただきます。

年会費

1,000円

データ・ポイント管理料として

参加方法

参加方法は下記の2種類から選べます！

【健康推進課の 窓口にて】

健康推進課窓口にて申込みできます。(平日のみ)



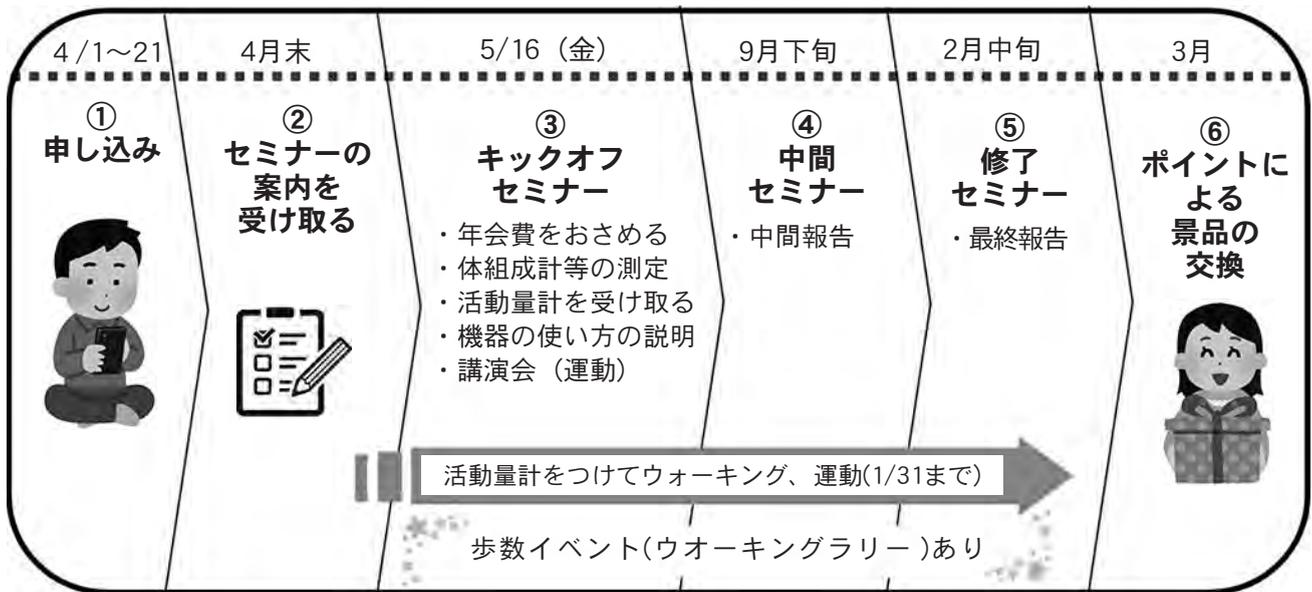
【Web申し込み（ご自身のスマートフォンから）】

- ①「ヘルスプラネットウォーク」の無料アプリをダウンロードする。
- ②「新規会員登録」から、団体行動欄に「kenkuru」を入力する。
- ③お客様情報等必要事項を入力し、「はじめる」ボタンを押す。



流れ

申込期間は、4月1日（火）～20日（日）まで！



👉 ここがポイント！

気軽に！
手軽に！

会員は年々増加中

Kenkuru。は今年で6年目です。開始当初は50名だった会員は、令和6年度で160名となりました。

令和5年度に全町的に実施したアンケートでは、運動習慣のある者の割合が北海道よりも高い割合であることが分かりました。

がんばった分だけ
ご褒美を

健康ポイント

日々の歩数、セミナーへの参加、ウォーキングラリーの達成度等に応じて健康ポイントを付与します。

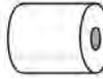
健康ポイントをためて、年度末に1ポイント＝1円相当として商品券等、最大5,000円分の景品と交換できます。

災害に対する「備え」できていますか？

いつ襲ってくるか分からない災害に備え、日頃から非常持出品の準備、備蓄品の用意をしておくことが重要です。町が備蓄する「公的備蓄」のほか、ご家庭においても最低限3日分、目標は7日分の備蓄を目指し各家庭の状況に合わせて準備しておきましょう。

また、災害時には、普段にも増してご家族や地域の方々の協力が必要となります。そのために、日頃から防災について、ご家族や近所の方々と話し合う機会を持ちましょう。

非常持出品

貴重品 	現金・通帳・キャッシュカード・クレジットカード・印鑑 保険証・免許証・母子健康手帳・マイナンバーカードなど
飲食料品 	水・米・乾パン・缶詰・レトルト食品・インスタント食品 菓子類・栄養補助食品
医薬品 	救急医薬品・常備薬・持病薬・おくすり手帳
日用品 	懐中電灯・カイロ・ライター・マッチ・乾電池・手袋・帽子・ヘルメット・箸・新聞紙・缶切り・ナイフ・笛・雨具
情報収集品 	携帯電話・充電器・小型発電機・ラジオ・筆記用具
衣類・衛生品 	タオル・ブランケット・トイレットペーパー・ティッシュペーパー ウェットティッシュ・マスク・消毒液・ゴミ袋・簡易トイレ・眼鏡 コンタクト・衣服（下着含む）
その他 	紙おむつ（幼児用・高齢者用）・哺乳瓶・粉ミルク・離乳食・スプーン・ストロー・生理用品・基礎化粧品・ペットフード

備蓄品

飲食料品 	水（1人当り一日約3Lが目安です。）米・アルファ米・レトルト食品・カップ麺 など保存期限が長いもの
燃料・暖房 	卓上コンロ・固形燃料・暖房器具・カイロなど
日用品 	歯ブラシ・タオル・石鹸など

防災行政無線放送について

京極町では、住民の皆様いち早く情報をお伝えするために、防災行政無線を通して気象・災害情報のほか町からのお知らせや情報など放送しています。令和6年の1年間で放送した主なものは以下のとおりです。

引き続き、住民の皆様の安全・安心のため有益な情報の発信に努めます。

気象・災害情報

- ・ 強風 大雪に係る注意喚起
- ・ 気象警報発令（暴風等）
- ・ 樹木倒壊による停電発生



町政情報

- ・ 国政選挙に係る投票啓発

注意喚起

- ・ 冬の気温上昇による落雪などの注意喚起
- ・ 夏の気温上昇による食中毒警報の発令



その他のお知らせ

- ・ 京極温泉臨時休業のお知らせ
- ・ 湧学館・公民館の一時閉鎖について
- ・ 生活応援券配布について
- ・ 浄水場完成に伴う給水開始について
- ・ プレミアム商品券販売のお知らせ

○登録制メールの運用が終了します

町民の皆さまに情報提供する手段として、防災行政無線の戸別受信機の外に、登録制メール（京極町 安全・安心メール）での情報配信を行ってまいりましたが、3月からリリースしております「京極町公式アプリ」において、同様のサービスが可能となったことから、3月31日（月）をもちまして、本サービスを終了いたします。長年のご利用に感謝いたしますとともに、引き続き「京極町アプリ」のご利用についてよろしくお願いたします。

★ダウンロードはこちらから



App Store



Google Play



令和6年度の税金に未納はありませんか？
納付書を紛失した場合は速やかに税務課まで！
～納期内納税を守りましょう～

～ 税金のお支払いは、便利な口座振替をご活用ください ～

今年度分の納税通知書は、5月上旬に固定資産税及び軽自動車税を、6月中旬に町道民税及び国民健康保険税を発送します。お手元に届きましたら内容をご確認のうえ、納期内に納めてください。
納め忘れなどをなくすためには、便利な口座振替をご利用ください。(振替納付日は納期限の日です。)

◎取扱金融機関

北海道信用金庫京極支店、ようてい農業協同組合京極支所、ゆうちょ銀行

【お申し込み】

預金通帳と登録している印鑑をご持参のうえ、取扱金融機関の窓口で手続きしてください。
※取扱金融機関によって異なる場合がありますので、事前ご確認ください。

～ 固定資産縦覧帳簿の縦覧について ～

固定資産税の基礎である評価額などの内容を、納税者の皆さんにあらかじめ確認していただくことができます。土地または家屋に係る固定資産税の納税者であれば、町内すべての土地や家屋の評価額を縦覧することができます。手数料はかかりません。

日 時：4月1日(火)～5月30日(金) 土・日曜日・祝日を除く午前8時45分～午後5時30分

場 所：京極町役場税務課

対象者：今年の1月1日現在、町内に土地・家屋を所有する固定資産税の納税者(納税管理人を含む)と納税者から委任された方(委任状が必要となります。)

※土地のみ、家屋のみ所有している方は、それぞれ土地価格等縦覧帳簿、家屋価格等縦覧帳簿のみ縦覧可能です。なお、固定資産課税台帳は納税者本人であれば常時閲覧可能です。(借地・借家人などの利害関係人については、対象物件の賃貸借契約書などの提示があれば閲覧可能です。)

Q.疑問などがある場合は？

固定資産の評価・課税について疑問がある場合などは、税務課までお問い合わせください。

また、評価額に不服がある場合は、固定資産課税台帳に価格などを登録した旨の公示の日以後、納税通知書の交付を受けた日の翌日から3ヶ月以内に、固定資産評価審査委員会に対して審査の申し出をすることができます。

なお、価格以外に不服がある場合は、納税通知書の交付を受けた日の翌日から起算して3ヶ月以内に、町長に対して審査請求をすることができます。

<お問い合わせ先> 役場税務課 TEL 42-2111 内線34～36

生ごみ処理機の購入 を助成します

補助対象

	生ごみ堆肥化容器（コンポスト）	電動生ごみ処理機
補助率	購入費の8割以内（限度額：6,800円）	購入費の5割以内（限度額：50,000円）
個数	1世帯通算2個まで	1世帯1台まで
画像 (例)		

注意：町内業者で購入したものに限る。

取扱店について下記の連絡先までお問い合わせください

補助対象

助成金を申請する方は、印かんをお持ちのうえ、役場
住民福祉課へ「助成金交付申請書」「納税確認同意書」
「委任状・受領書」を提出し、「助成金交付決定通知」を
受けてください。

購入前に申請が必要です！！



申請書、事業の詳細については
ホームページをご覧ください。

今月の生涯学習情報

生涯学習センター湧学館 画 42-2700・公民館 画 42-2203・総合体育館 画 42-2075

【図書利用時間10:00~18:00】

日	月	火	水	木	金	土
4月		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ 図書休館日 ○ イベント開催日

最新の情報はHPをチェック
<http://lib-kyogoku.jp>
 TEL: (0136)-42-2700



こどもの読書週間 (どくしょじゅうかん)



4/23(水)~5/11(日)は

かしだしさっすう むせいげん
貸出冊数 無・制・限!!

おとなも



5/5(月) 臨時開館します

13:30~お楽しみ映画上映会

「おまえ うまそうだな」

肉食恐竜と草食恐竜が親子?!
 絵本「ティラノサウルスシリーズ」
 を映画化した作品です(約90分)

(予約不要) 先着98名様
 湧学館2階 視聴覚室



あいことばは
ヒ・ラ・ケ・ホ・ン!

2025・第67回 こどもの読書週間 4/23~5/12

4/12(土)~5/16(金) どさんこ作家の
 あべ弘士さん
パネル展



あてっこ
 どうぶつずかん
だれ

湧学館多目的ホールにて
開催中!!



2025ノミネート作決定!
本屋大賞

4月9日に2025年本屋大賞が決定します!!
 全国の書店員さんの投票で決まるこの賞の受賞作・
 ノミネート作は映画化されることも多く、湧学館で
 も利用の多い本ばかりです。

ノミネート作品の中から4作品をご紹介します



【成瀬は信じた道をいく】
 宮島 未奈/著

知らぬ間に多くの人に影響を与えなが
 ら、我が道を突き進む成瀬あかり。
 幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬
 が書置きを残して失踪しており…!?
 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。



【生殖記】
 朝井 リョウ/著



【アルプス席の母】
 早見 和真/著



【spring】
 恩田 陸/著

お子様対象

おはなし会



4月19日(土) 11:00~

場所: 幼児室(図書室内)



♪ 申し込み不要

♪ 10~20分程度のお時間です



ブックスタートプラス対象の方は
 4月12日(土)までにお申し込み
 ください

内容が変更になる場合がございます。詳しくはHPでご確認ください。

《 新刊のご案内 》



[366日]
福田 果歩／著



[虚の伽藍]
月村 了衛／著



[秘色の契り]
木下 昌輝／著



[藍を継ぐ海]
伊与原 新／著



[2035年
最強の働き方]
ひろゆき／著



[わたしたちの
歳時記]
杉浦 さやか／著



[わたしの親が
老害なんて]
西野 みや子／著



[転職する勇気]
安斎 響市／著



[本当に危ない
闇バイトの話]
廣末 登／監修



[王様のキャリア]
まひる／著



[となりの
ヤングケアラー]
村上 靖彦／著



[ねこホテル]
ふくべ あきひろ／さく

その他の新刊一覧は [湧学館ホームページ] からご覧ください。

PICK UP

身近な問いから「文化」を見たら
世界がどんどん広がった！
多様性の「はじめの一歩」
文化人類学講義スタート！

自分のあたりまえを切り
崩す文化人類学入門
箕曲 在弘／著



[分類記号389ミノ]

家族に血のつながりは大切？
よそ者は冷たくされるもの？
失敗はすべて自己責任？
自分にとってのあたりまえ
が、実はあたりまえではな
かったことに気づく。多様な
人々と共に生きる、未来のた
めの文化人類学入門。

絵本コーナーに常設の特集コーナーができました！

- ・お正月や七五三、ハロウィン、クリスマスなど「行事のえほん」
- ・戦後80年を迎え、大人も子どもも考えたい「戦争・平和のえほん」
- ・子どもの性教育にも使える「心とからだのえほん」
- ・身近な自然に触れられる「自然・いきもののえほん」
- ・色々な知識の入り口にぴったりの「科学のえほん」



利用や問い合わせの多いテーマをまとめることで、より絵本を探しやすくなりました。
その他の絵本は『絵を描いた人の名前』や『シリーズ名』の50音順で並べています。
絵本選び、絵本探しでわからないことがありましたら、いつでも職員へお声掛けくださいね。

おはよう

子育て支援センター情報



京極町子育て支援センター TEL42-3000
開園時間 月～金曜日 9:00～11:30
15:00～16:30
閉園日 土・日曜日、祝日



◇子育て支援センターへお越しの皆様へ◇

【支援室・読み聞かせ室】

☆開放日時:(月)～(金) 9:00～11:30 / 15:00～16:30

※読み聞かせ室について…

普段中々借りることのできない、保育園に入園しているお子さんを対象に、毎週木曜日のみ16:30～18:00の時間で貸出しの為に開放しています。

【絵本・紙芝居等の貸出】

☆一人(絵本10冊)・(紙芝居5冊)まで。ゲームについては絵本の数に含みます。期間については1ヶ月以内となっております。

【相談について】

☆気がかりな事、ちょっと聞きたい事などお気軽にどうぞ。(秘密厳守)



◇子育て支援センターについて◇



子育て支援センターの様子を紹介します



支援室は様々な年齢のお子さんと保護者の方が気軽に利用してくれています。保育園入園前のお子さんが午前も午後も遊びに来てくれたり、保育園の帰りに立ち寄ってくれたり、センターからはいつも楽しそうな声が響いています。

遊具もたくさんあり、年齢が小さくても遊べるゲームも貸し出しています。是非おうちでもお子さんと楽しい時間を過ごしてください!!



今年度の子育て支援センター 4月からの予定を紹介します



人気の【親子ピクス】は春(5月)と秋(10月)に4、5歳児・2、3歳児・1歳児のグループに分けて実施予定です。有酸素運動エアロピクスを取り入れた楽しい親子体操で、1歳児から5歳児までの親子が対象です。さらに小さい年齢のお子さんを対象とした、親子のふれあい運動【ベビーピクス教室】も実施予定です。

また、昨年同様、【母親エアロピ教室】【母親ヨガ教室】を実施予定です。今年度は3.4.5歳児のお子さんがあるお母さんを対象と考えております。時期が来ましたら案内させていただきますのでたくさんのご参加、お待ちしております☆



いきいきシニア訪問を行います



地域包括支援センターは65歳以上の方の総合相談窓口となっています。ご本人やご家族、役場や医療機関など様々なところから、高齢者ご本人の福祉や医療のサービス、生活に関するご相談にのってほしいと連絡が入ります。

ご相談には基本的に家庭訪問で対応させてもらい、その方の暮らしにあった相談対応を心がけています。

地域包括支援センターでは、年度内に満80歳になる方と、その同居する65歳以上の方を対象に“いきいきシニア訪問”を行っています。令和7年度は職員3名で20数世帯35名のみなさまに家庭訪問を予定しています。

○訪問時期 5月から6月までの2か月間(4月にお手紙でお知らせします)

○訪問の目的

- ①担当職員と顔見知りになることで、今後気軽に相談できるようになる
- ②担当職員がふだんのご様子を知っておくことで、今後の相談がスムーズに

6月には、65歳から79歳の方約400名を対象に、暮らしと健康に関する実態調査を行います。この取り組みは令和4年度以降、3年に1回町と地域包括支援センターで行っています。

○実施時期 6月に調査票を郵送し、調査票を返送いただきます。

○実施の目的

- ①暮らしと健康に関するまちの現状を知ってこれからの取り組みにつなげる
- ②ふだんの暮らしに関する不安や困りごとのある方に対応します。
- ③介護予防の取り組みが必要な方に、情報提供や助言を行います。

対象となる皆さまには、上記の目的をご理解のうえ、訪問と調査にご協力を何卒お願いいたします。ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

またご相談は、電話や福祉センターへの来所、メールでもお受けしていますのでお気軽にご相談ください。

地域包括支援センターだより

電話／0136-55-8615 (24時間対応)

相談専用メール／soudan65@kyougoku-shakyo.or.jp





春の火災予防運動

実施期間
4/20 (日)
▼
4/30 (水)

『守りたい 未来があるから 火の用心』(全国统一防火標語)

春の火災予防運動は火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、町民の火災予防意識の向上を図り、火災の発生を防止することを目的としています。火災は一人一人が注意することで防ぐことができますので、日頃から火災が発生させないための習慣づけと対策を行いましょう。

住宅防火の7つのポイント

3つの防火習慣

- ストープの近くに燃えやすいものを置かない。
- ガスコンロのそばから離れるときは、必ず火を消す。
- 寝たばこは絶対にしない。



4つの防火対策

- 住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検する。
- カーテン等は防災品を使用する。
- 住宅用消火器を設置し、取り扱い方法を確認しておく。
- 家の周囲を整理整頓し、放火されない環境を作る。

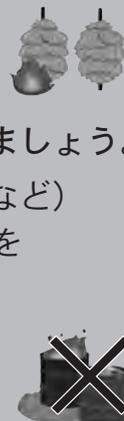


農作物の殻焼きの届け出について

農作物の殻焼きを行うときは、必ず消防に届け出をしてから行いましょう。

- 氏名、電話番号、焼却時間、焼却物、焼却場所 (例：自宅北側など)
- 消防署京極支署窓口または、電話 (0136-42-2303) にて届け出をお願いします。

- ※廃棄物の焼却は禁止されていますので、絶対にやめましょう。
- ※119番での届け出は行わないでください。



消防への通報・連絡は下記まで

火事・救急・救助 (指令センター) 局番なし119番
 災害案内専用電話 (自動音声) 22-6655番
 その他お問い合わせ (消防署京極支署) 42-2303番

羊蹄山ろく消防組合ホームページ
<https://www.yotei-fd.jp/> (羊蹄山ろく消防組合)





国民年金保険料について

住民福祉課

令和7年度（令和6年4月から令和7年3月）の国民年金保険料は、月額17,510円で、令和5年度国民年金保険料から530円引上げとなります。

国民年金保険料学生納付特例制度について

住民福祉課

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。

しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、特別支援学

校、一部の海外大学の日本分校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）に在学する学生等で、ご本人の前年所得が「128万円＋（扶養親族等の数×38万円）＋社会保険料控除等 以下」であることが条件です。

ただし、学生納付特例の期間は年金額に反映されないことから、将来受け取る年金額を増額するためにも後から納付（追納）することをお勧めします。

○令和7年度の国民年金保険料学生納付特例申請について

学生納付特例の期間は4月から翌年3月までの1年間です。

令和6年度に保険料納付を猶予されている方で、令和7年度も引き続き在学予定の方には、4月初めに再申請の用紙（ハガキ形式）が届きます。

引き続き学生納付特例制度の申請を希望される場合は、このハガキに必要事項を記入し返送いただくことで、令和7年度の申請ができます。

（この場合、在学証明書または学生証の写しの添付は不要です。）

なお、令和7年度は学生納付特例を利用せず、保険料の納付を希望される場合は納付書を送付しますので、お近くの年金事務所までお問い合わせ

してください。

小樽年金事務所お客様相談室

TEL 0134 (33) 5026

住民福祉課

小樽年金事務所出張相談をご利用ください

小樽年金事務所では、倶知安町にて事前予約制の出張事務相談所を開設しています。

年金に関する請求や手続について、職員がわかりやすく説明いたしますのでどうぞお気軽にご利用ください。

●開設日程

令和7年 4月23日（水）
5月21日（水）
6月18日（水）
7月23日（水）
8月20日（水）
9月17日（水）
10月22日（水）
11月19日（水）
12月17日（水）
令和8年 1月21日（水）
2月18日（水）
3月25日（水）

●開設時間

午後1時00分～午後5時00分

●開設場所

後志労働福祉センター

（倶知安町南1条東1丁目）

●予約申込電話番号

小樽年金事務所お客様相談室
TEL 0134 (33) 5026

※自動音声案内により最初に「1番」、続いて「2番」を選択してください。

・受付時間

午前8時30分～午後5時00分

●予約申込方法

- ・相談は事前予約制で、電話でお受けいたしております。
- ・ご予約を受付の際には、相談者及び配偶者氏名、基礎年金番号、電話番号、相談内容について確認させていただきます。

●相談にあたって

- ・年金相談にお越しの際は、年金手帳（基礎年金番号通知書）、年金証書、振込通知書などのほか、相談者本人であることを確認できるものをご持参の上お越しください。
- ・代理の方がご相談にいられる際には、委任状が必要となります。
- ・ご都合により来所できない場合は、事前にご連絡をお願いします。



「双葉ダム」ダムカードを無料配布します

産業課

平成元年度に国営双葉土地改良事業で造成された「双葉ダム」の地域理解や農業の基盤を支える双葉ダムを多くの方に知っていただきたいという目的のためダムカードを作成しました。希望される方に無料で配布いたしますので是非ご来庁ください。（数量限定につき無くなり次第配布終了となります）

また町ホームページのリンク先より双葉ダムの概要の掲載、動画も視聴できますので是非ご覧ください。

●配布場所

産業課土地改良係

TEL 0136 (42) 2111

●配布日時

令和7年4月1日（火）

●配布開始

平日9時～17時（土日祝除く）



年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準額以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内や事務手続きは、日本年金機構（年金事務所）が実施します。

対象となる方

■老齢基礎年金を受給している方

以下の要件をすべて満たしている必要があります

- ✓ 65歳以上である
- ✓ 世帯員全員が市町村民税が非課税となっている
- ✓ 年金収入額とその他所得額の合計が約88万円以下である

■障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

以下の要件を満たしている必要があります

- ✓ 前年の所得額が約462万円以下である

請求手続き

- ① 新たに年金生活者支援給付金をお受け取りいただける方
お受け取りの対象になる方には、日本年金機構から請求可能な旨のお知らせを送付します。
- ② 年金を受給しはじめる方
年金の請求手続きと併せて年金事務所または市区町村で請求手続きをしてください。

日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください

- ✓ 日本年金機構や厚生労働省から、電話でお客様の家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めるともありません。

▶ 年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときには、お電話ください。

『ねんきんダイヤル』：0570-05-1165（ナビダイヤル）

年金給付金 検索



ま ち の 事 件 簿

事 件

- 2月中、京極町では、犯罪の認知がありませんでした。

事 故（事例）

- 特異な事故の発生はありませんでした。

令和7年2月末 交通事故発生状況

	7年	6年
人身	0件	1件
物損	12件	12件
死者	0人	0人

京極町地域安全協会
倶知安警察署

令和7年度採用の
自衛官募集の案内

総務課

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
一般曹候補生 (第1回)	男子 採用予定月の1日現在 18歳以上33歳未満の者 女子	令和7年 3月1日(土) ～ 令和7年 5月7日(水)	1次試験： 令和7年5月17日(土)～25日(日) ※いずれか1日指定されます 2次試験： 1次試験合格通知でお知らせします。

※状況により試験日の変更の可能性があります。詳しくは次にお問い合わせください。
 倶知安地域事務所：倶知安町南3条東1丁目 TEL0136-23-3540
 自衛官募集相談員 村上 敦 TEL0136-42-2543

農業委員会からのお知らせ

農業委員会

農業委員会の総会は、毎月第4木曜日開会予定となります。
 ・4月の予定日時
 日時 4月24日(木)
 午後1時30分
 (農繁期等により日時変更を行うことがあります。)
 総会案件については、開会日時の2週間前までに地区担当委員に申し出てください。

北海道職員採用試験「普及職員(農業)」の受験者募集

産業課

北海道では、農業の生産性向上、農業経営や農村生活の改善などに関する技術や知識を、試験研究機関や農業関係団体と連携し農業者に普及指導する「普及職員」を募集しています。

地域の普及センターの活動などを通じ、普及職員に興味がありましたら、下記HPを参照願います。
 採用試験の概要については、北海道人事委員会のホームページをご覧ください。

北海道人事委員会事務局任用課HP
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hj/nny/>

HPはこちらから



普及職員(農業)の業務内容については、次のホームページをご覧ください。

○普及職員(農業)職員採用のページURL
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/gjf/fukyuu-saiyou.html>



小貫 隼人さん



三崎 (令和6年4月20日)
 将仁さん=穂月さん

あっという間に1歳だね。
 いつもたくさんの笑顔をありがとう!
 これからの成長も楽しみにしているよ～

町長
のひびき
まごころ
2月

- 1日 町内除雪ボランティア いちはし修治「2025新春の集い」
- 1日～3日 第77回香川丸亀国際ハーフマラソン・第19回にぎやか村
- 4日 京極町障がい福祉推進事業講演会
- 5日 京極町商工会女性部新年会
- 6日 後志広域連合会議
- 6日 サントリーのポトルtロボトル事業協定式
- 14日 京極町国民健康保険審議会(第1回)
- 17日 後志町村会定期総会
- 19日 尻別川流域治水協議会
- 20日 尻別川減災対策協議会
- 20日 北海道発電・ダム施設関係市町村協議会役員会
- 21日 北海道簡易水道等環境整備協議会役員会
- 21日 京極消防互助会定期総会
- 21日 羊蹄山ろく消防組合協議会
- 21日 羊蹄山麓環境衛生組合関係町村長会議
- 21日 JAようてい女性部京極支部通常総会
- 21日 京極町林友会総会
- 21日 国営中後志地区土地改良事業促進期成会総会
- 23日 双葉地区共同施設管理協議会
- 26日 京極町長杯ミニバレーボール大会
- 26日 種子馬鈴薯生産組合京極支部定期総会
- 28日 全員協議会
- 28日 ようてい森林組合通常総代会



* 人口や世帯の動き *

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	町内会
久保 ^{さきと} 幸冬さん	R7.1.30	E.D.H
保護者：智哉さん=有貴子さん		
バッキンガム ^{あみ} 愛海さん	R7.2.20	一八
保護者：アリスターポールさん=智美さん		
バッキンガム ^{じゅり} 珠利さん	R7.2.20	一八
保護者：アリスターポールさん=智美さん		



おくやみ申し上げます

氏名	年齢	死亡日
山本 富榮さん (三区)	94歳	2月18日
大野 秀子さん (中野)	92歳	2月19日



人のうごき



	●人口	●男性	●女性	●世帯数
令和7年2月末現在 ()は前月との比較	2,771人 (-6)	1,358人 (-2)	1,413人 (-4)	1,452戸 (-10)

京極町公式アプリがリリースされました

3月3日に京極町公式アプリがリリースされました。京極町アプリでは、京極町役場や地域事業所からのお知らせ、ゴミ出し情報や防災情報の配信のほか、町内事業者からのクーポンなど、お得で便利な機能をたくさん搭載しています。下記QRコードからダウンロードをお願いいたします。



App Store



Google Play



編集後記

今月号の表紙は、京極中学校の卒業式の写真です。卒業生からは寂しさも感じられましたが、これからの生活に目を輝かせているようにも見えました。3月下旬になり、暖かい日も多くなってきました。雪解けの時期は、屋根からの落雪や交通事故等が多くなる時期でもありますので、十分に注意し日々をお過ごしください。

